

食事や歌で交流するベトナム人とシニアクラブのメンバー＝日田市天瀬町のローズヒルあまがせ



「天瀬を好きになって」 シニア ベトナム人と食事会

【日田】日田市天瀬町の五馬市シニアクラブは2日、五馬市で働くベトナム人との交流会を、地区内のローズヒルあまがせ（市天瀬農業公園）で開いた。クラブのメンバー15人が参加。地区内の農園で働いている20～30代のベトナム人女性4人を食事会に招待した。たぐさんの香辛料を入れたガパオライスやフォーなど東南アジアの料理と一緒に作り、食事と歌で日頃の労をねぎらった。ベトナムの人たちは農園でパクチーなどの野菜を作っており、約3年間滞在す

県産乾シイタケのフランドーニまみだけ」やおおいた和牛などを使った料理を作る。参加料3千円。定員15人（申し込み多数の場合は抽選）。申し込みは12日までに同商店（090・3192・4947）へ。

る。交流会は、昨年発足したクラブが「地域住民と親睦を深めることで、母国を離れて暮らす寂しさを紛らす一助にしてほしい」と初めて企画した。穴井和彦会長（80）は「普段はあいさつ程度しかできないから五馬市をもっと好きになってもらいたかった。また開きたい」と話した。（首藤福功）

大分合同新聞 2022年10月10日（月）朝刊 8面

